

## 第 8 6 回全国高校サッカー選手権大会三重県大会（決 勝）

日時	2007,11,25(Sun) 13:30	形式	80分：トナメント方式		会場名	鈴鹿スポーツガーデン・メイン			
天候	快晴	気温	17	湿度	30%	風	弱風	ピッチ状態	観衆数
Match-Commissioner	泰羅修二	A-Ref1	島田浩幸	4th-Re	上田元大	芝	良	1,000人	
Referee	勝又光司	A-Ref2	和田篤典	Record	四中工	表	乾燥		

<b>四日市中央工業</b>										<b>津工業</b>														
Kick off					P K					Kick off														
Change		Shoot				Tot	PLAYER				No.	Posi	No.	PLAYER				Tot	Shoot				Change	
Tim	Name	EX2	EX1	2nd	1th		1th	2nd	EX1	EX2				1th	2nd	EX1	EX2		Name	Tim				
						0	山本 普	12	GK	GK	1	小倉 景樹	0											
						0	櫻原 直也	2	DF	DF	2	真田 修次	0											
						0	景山 裕晃	3	DF	DF	3	宮本 竜雅	0											
					1	1	近藤 力	4	DF	DF	4	秋月 和英	0											
					1	1	豊田 和斗	15	DF	DF	5	佐々木伸悟	0											
						0	野口 貴史	5	MF	MF	6	花木真佐雄	0											
50	高城					0	里中	7	MF	MF	7	鈴木 雄太	0											
65	荒川		1	1	1	1	寺前 隼人	10	MF	MF	8	松葉 司	0											
75	倉田		2	1	2	2	稲森 睦	14	MF	MF	9	飯田 裕之	0											
			1	5	1	1	畠山 祐輔	17	FW	FW	10	中野 真人	0								小崎	80		
			2		2	2	小島 弘巳	20	FW	FW	11	前田 侑弥	0								中山	HT		
						0	早川 恭平	21	GK	GK	17	西川 一馬	0											
						0	野村 達郎	6	DF	DF	12	田中 裕二	0											
						0	清水 勇治	22	DF	DF	13	前田 翔平	0											
					1	1	高城 友義	11	MF	DF	16	中川 雅光	0											
						0	飯田 博也	18	MF	DF	25	花盛 佑弥	0											
						0	倉田 尚弥	19	MF	MF	20	小崎 大輔	0											
						0	荒川 悠歩	8	FW	MF	15	中山 雄登	0											
						0	増田 了介	9	FW	MF	19	山名 広将	0											
						0	榎 信博	25	FW	FW	18	斉藤 彰一	0											

警告・退場					監 督					警告・退場								
Tim	R/Y	No.	Name	Reason	樋口 士郎					藤田 一豊								
29	Y		小島弘巳	反蹴	EX2	EX1	2nd	1st	Team-Total	1st	2nd	EX1	EX2	49	Y		藪内 匠	反蹴
					0	0	9	7	16	Shoot	0	0	0	0				
							1	4	5	G K	8	5	3					
							2	2	4	C K	1	1	0					
							5	8	13	直接FC	7	4	3					
							4	2	6	間接FC	1	1	0					
							0	0	0	P K	0	0	0					

Tim	得点チーム	No.	得点者	スコア	得点経過	記録例：～ドリブル	パス	浮き球	×混戦	Sシュート	Hヘディング
29	津工業		松葉 司	0 - 1	飯田		松葉	SG			
34	津工業		Own-gall	0 - 2							
36	四中工		畠山 祐輔	1 - 2	稲森	CK		畠山	HSG		
48	四中工		寺前 隼人	2 - 2							
60	津工業		花木真佐雄	2 - 3	松葉		花木	SG			
83	津工業		小崎 大輔	2 - 4	松葉	S	飯田	S	こぼれ	小崎	SG

【戦評】 記入者： 青柳 隆 所属： 海星高校  
 共に 4 - 4 - 2 の両チーム。四中工は前線からプレッシャーをかけ、FW とMF のサイドからチャンスをつくる。対する津工業は後方からしっかりとボールをつなぎ、をワイドに配置しサイドから攻撃を仕掛ける。後半、津工業はMF を投入し3トップ気味にシステムを変更すると、四中工が中盤を支配し、決定機を何度も作るが得点には至らない。逆に津工業は数少ないチャンスをしかりと得点に結びつて、勝利を確実なものにした。

転記責任者： 藤田一豊  
 注) シュート数前後半の記入がなかったため加筆しました。